

平成 30 年度 大分市教育実践記録

資料編

大分市立判田小学校 江隈 美佐

(資料1)

指導案の形式について

余白
左右・・・20mm
上下・・・20mm

第○学年外国語活動指導案

14 ポイント

日 時 H○年○月○日 (○曜日)
○年○組 指導者名

1. 単元名

教材 単元名 (教材) を書く

2. 単元の目標

1～8 のタイトル
12 ポイント MS 明朝

3. 言語材料

4. 単元設定の理由

(1) 児童について

- ・これまでの外国語活動での児童の様子
- ・児童はどのような力を身につけたか
- ・これから身につけなければならない力は何か

(2) 単元について

- ・本単元でどんな力を付けさせたいか
- ・本単元の価値
- ・英語表現

(1) (2) (3) のタイトル
11 ポイント MS 明朝

(3) 指導について

- ・学習形態 (ペアワーク・グループワークなど)
- ・自己表現の場
- ・振り返りの工夫
- ・支援の方法, 評価の方法

本文 10.5 ポイント MS 明朝

5. 単元の評価規準

ア. コミュニケーション への関心・意欲・態度	イ. 外国語への慣れ親しみ	ウ. 言語や文化に関する 気づき
「～できる。」とならないよ うにする。		

* 移行期間は, 現行学習指導要領に沿うため, 評価規準は変えない。指導要録・「あゆみ」と同様とする。

6. 指導と評価の計画（全○時間）

時	主な活動	コ	慣	気	評価規準
	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の目標 ・単元の指導目標を達成するための学習活動 	○	◎		・各観点の評価の規準

7. 本時案（○時）

(1) 本時の目標

《追求対象》を，《手だて》し，《子どもの到達像，到達の姿》～するようにする。

(2) 展開(45分)

時間	児童の活動	指導者の活動と使用英語例	◎○評価規準 ●教材・教具
	○児童の立場で，児童の行う活動を書く。 ・～する。 ○児童が使用する表現例 1. 2.	○めあてを達成させるための支援や手だての工夫を指導者の立場で書く。 ・(児童に) ～させる。 ・(指導者が) ～する。 ○めあてを <input type="text"/> 囲みで明確にする。 ○学習形態 ○授業形態に応じて，ALT や JTE の枠を作成する。	◎各観点の評価の規準 ○各観点の評価の規準 ●教材・教具

その他

学習活動で行うゲームやコミュニケーション活動の説明など

本文中の英語表現は
Century 体

(資料2)

外国語活動

話すこと [やり取り]

- ア 基本的な表現を用いて挨拶、感謝、簡単な指示をしたり、それらに応じたりするようにする。
- イ 自分のことや身の回りの物について、動作を交えながら、自分の考えや気持ちなどを簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うようにする。
- ウ サポートを受けて、自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて質問をしたり質問に答えたりするようにする。

例としてあげられている言語活動

- (ア) 知り合いと簡単な挨拶を交わしたり、感謝や簡単な指示、依頼をして、それらに応じたりする活動。
- (イ) 自分のことや身の回りの物について、動作を交えながら、好みや要求などの自分の気持ちや考えなどを伝え合う活動。
- (ウ) 自分や相手の好み及び欲しい物などについて、簡単な質問をしたり質問に答えたりする活動。

外国語

話すこと [やり取り]

- ア 基本的な表現を用いて指示、依頼をしたり、それらに応じたりすることができるようにする。
- イ 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができるようにする。
- ウ 自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いてその場で質問をしたり質問に答えたりして、伝え合うことができるようにする。

例としてあげられている言語活動

- (ア) 初対面の人や知り合いと挨拶を交わしたり、相手に指示や依頼をして、それらに応じたり断ったりする活動。
- (イ) 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを伝えたり、簡単な質問をしたり質問に答えたりする活動。
- (ウ) 自分に関する簡単な質問に対してその場で答えたり、相手に関する簡単な質問をその場でしたりして、短い会話をする活動。

(資料3)

授業の流れシート

教師が授業で英語を使う際、どのように英語で言えば良いか考えるため、またどんな英語での指示が有効かを検証するため、授業の流れシートを作成する。自然な英語で簡単な表現になっているかは、ALT にチェックを依頼する。

H30.7.11 2年生「スイミー水ぞくかんをつくろう」

Today's leaders come to the front, please. Let's start English class. Hello, how are you, Daisuke sensei? How are you? Who is happy? Hungry persons stand up, please.

How is the weather? Is it sunny? Rainy? Cloudy? Let's play the "how are you Janken".

(Small Talk)

Daisuke sensei, do you know NIMO? He lives in the sea anemone. His house is the sea anemone. You can see sea anemones in Oita. Do you know Umitamago?

It is an aquarium. There are so many sea creatures in Umitamago.

Have you ever been to? Oh, no. Who has been to Umitamago?

Please go to Umitamago in summer vacation. You can see many sea creatures.

Today's goal is “海の生き物の英語を使って話したり聞いたりしよう”. At the end, we will make a “スイミー水族館”. First, let's review the words with chant.

Next is the key word game. Do you remember the dinosaur and the meat. Make a pair. 体育館側 line person, be a dinosaur. 廊下側 line person, be a meat. 2回戦, change the roll.

Please count your points. Are you ready?

Next is “海の生き物ステッカー集め”. Let's collect the sea creatures' stickers.

We will show you, how to do.

Hello. Hello.

○○, please. ○○, here you are.

Thank you.

Bye, see you. Bye, see you.

(Practice)

Please collect 6 sea creatures, and put them on your picture.

First, 体育館側 line person go to the desk. 廊下側 line person, collect the stickers.

(First half)

(中間評価)

(Second half)

Let me see your “スイミー水族館”. Wow. Very good.

Reflection time. Please check the four points. Read the today's goal again. “海の生き物の英語を使って話したり聞いたりしよう”

Daisuke sensei, give some comments to students, please.

Leaders come to the front. Let's finish English class. Bye see you. Have a nice summer vacation, Daisuke sensei.

(資料 4)

単元計画・1時間の授業の流れ

(1) 単元計画

単元計画を立てる際は、以下の点に留意する。

- ② ゴールの言語活動を定める。
- ③ ゴールから逆算(バックワードデザイン)して、1時間ごとの目標を決め、活動を組み立てる。

また、活動の順序として、

- ① 「聞くこと」「話すこと」(「読むこと」「書くこと」高学年)の順に言語活動に取り組みさせる。
- ② 語句や表現に音声で十分慣れ親しませる。
- ③ 単元後半に読んだり書いたりする。
を基本とする。

**授業づくりに
欠かせないポイント**

英語を使う必然性
相手意識
目的意識

(2) 1時間の授業の流れ

主な活動	内容
Greetings Warm up	気分, 天気, 日にち 歌, chant
Small Talk	低学年 : 教師の英語を聞かせる場 中学年 : 教師の英語を聞かせる場 高学年 5年: 教師と児童との [やり取り] 6年: 児童と児童との [やり取り]
Review or practice	簡単なゲームを用いた復習や練習 ・ポインティング・ゲーム ・キーフレーズゲーム ・心を一つにゲーム など
Activity(first half)	中心となる言語活動 前半
中間評価	中心となる言語活動 前半の振り返り, 改善するためのスキルアップ
Activity(second half)	中心となる言語活動 後半
Reflection Greetings	本時のめあてに対する振り返り 次時の予告等

(資料 5)

Classroom English (教師用)

児童が英語に触れる機会を増やすため、授業は英語で行うことを基本とする。日頃から Classroom English を教師が使用することで、児童が抵抗なく英語を使おうとするようになる。以下は Classroom English の一例である。

Basic Classroom English

- 1, Stand up. (立ちましょう)
- 2, Sit down. (座りましょう)
- 3, Raise your hand. (手を挙げて)
- 4, Put your hands down. (手をおろして)
- 5, Look at the blackboard. (黒板を見ましょう)
- 6, Come here. (こちらに来て)
- 7, Open your textbooks. (教科書を開きましょう)
- 8, Close your textbooks. (教科書を閉じましょう)
- 9, Listen carefully. (よく聞いて)
- 10, Stop it. (やめなさい)
- 11, Clap your hands. (拍手しましょう)
- 12, Shake hands. (握手しましょう)
- 13, Let's play a game. (ゲームを始めましょう)
- 14, Let's begin(start). (始めましょう)
- 15, Find a partner. (相手を探して)
- 16, Make pairs. (ペアを組んで)
- 17, Make a circle. (円になりましょう)
- 18, Make groups of three. (3人のグループになりましょう)
- 19, Make a line(two lines). (一列(2列)になって)
- 20, Rock, scissors, paper go(one two three). (じゃんけんぽん)
- 21, Ready go. (よーい どん)
- 22, Any volunteers? (だれか やってみたい人)
- 23, Once more, please. (もう1回 お願いします)
- 24, Are you ready? (準備はできましたか)
- 25, Time is up. (時間です)
- 26, How many points did you get? (何点とりましたか)
- 27, Great. (すごい)
- 28, Close. (おいしい)
- 29, Let's try again. (もう一度やってみよう)
- 30, Good job. (よくできました)



(資料 6)

Classroom English (児童用)

CLASSROOM ENGLISH (てい学年)



CLASSROOM ENGLISH (中・高学年)



(資料7)

振り返りシート

外国語活動の時間は振り返りシートを使い、[やり取り]のポイントとその時間のめあてについて、自己評価をさせる。

(1) [やり取り]のポイント

本校では、コミュニケーションの基礎になるものとして、[やり取り]のポイントを設定している。

- Smile スマイル ○Clear voice クリアーボイス
- Eye contact アイコンタクト ○Response レスポンス

[やり取り]のポイントは、どの授業においても常に意識させるものとして、その時間のめあてとは別に、◎・○・△の3段階で自己評価をさせる。

(2) めあて

各時間に設定しためあてに沿って、発達段階に合わせた振り返りをさせる。

- 1年生 ・・・・3段階の顔マークに色ぬり
- 2年生 ・・・・3段階の顔マークに色ぬり+記述2行
- 3年生以上 ・・・・記述

1年生児童の振り返りシート

第1時

	1 Smile スマイル	2 Clear voice クリアーボイス	3 Eye contact アイコンタクト	4 Response レスポンス
やり取りのポイント	◎○△	◎○△	◎○△	◎○△
めあて	< どうぶつの えいごのいいかたを しろう。 > ・どうぶつの えいごのいいかたを しりましたか。 ・こえにだして かつどうをたのしみましたか。			

7月4日

	1 Smile スマイル	2 Clear voice クリアーボイス	3 Eye contact アイコンタクト	4 Response レスポンス
やり取りのポイント	◎○△	◎○△	◎○△	◎○△
めあて	< どうぶつの えいごで あそぼう。 > ・どうぶつの えいごをつかって あそびましたか。 ・こえにだして かつどうを たのしみましたか。			

【こえにだしてね!】

Lesson 1 6月21日

	1 Smile スマイル	2 Clear voice クリアーボイス	3 Eye contact アイコンタクト	4 Response レスポンス
やり取りのポイント	◎○△	◎○△	◎○△	◎○△
めあて	< アルファベットを知ろう > わたしはMとNの言い方がわからなかったけれどゲームのおかげでおぼえられました。アルファベットが全部言えるようになったので嬉しかったです。			

Lesson 2 7月5日

	1 Smile スマイル	2 Clear voice クリアーボイス	3 Eye contact アイコンタクト	4 Response レスポンス
やり取りのポイント	◎○△	◎○△	◎○△	◎○△
めあて	< アルファベットに歌しよう > わたしはしんがいのうたも歌えなかったけれどいろいろなアルファベットが出てきて全部言えました。楽しかったです。			

【アルファベット、おぼえてね。】